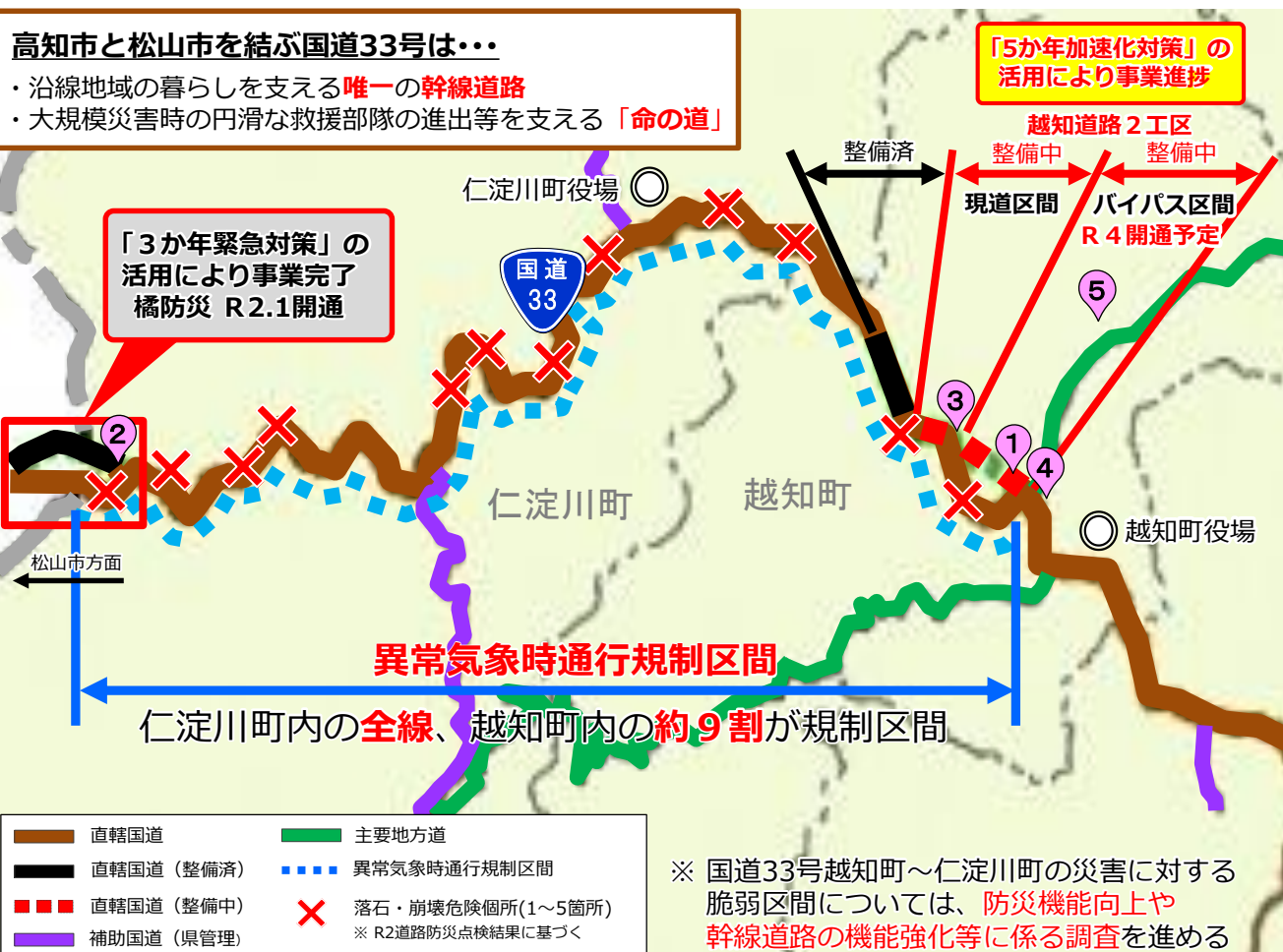
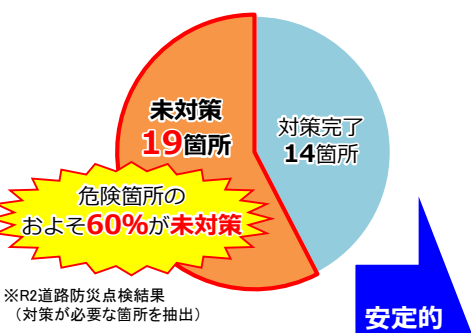


① 異常気象時通行規制区間の解消(国道33号)



■ 落石等の危険箇所における対策実施状況



■ 異常気象時通行規制状況



危険箇所の解消



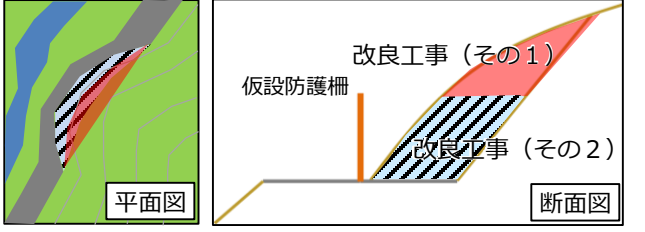
観光振興を下支え



② 防災上危険箇所の回避(国道494号)



当初予算配分におけるメリット



- 【メリット】
- 発注ロットを小さくせず大ロットでの発注が可能
 - 準備工にかかる時間が短縮でき、**早期に効用が発現**
 - 経済的な実施が可能**
- (諸経費の縮減、仮設防護柵リース期間の短縮)

	初年度				次年度			
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
補正予算	公告～入札	改良工事(その1) 準備工 本體工			公告～入札	改良工事(その2) 準備工 本體工		
当初予算	翌債承認	公告～入札	改良工事(その1+その2) 準備工 本體工					

早期完成

南海トラフ地震対策及び通学路等の交通安全対策に必要な予算の確保

橋梁等、道路施設の 予防保全への転換に必要な技術的支援・予算の確保

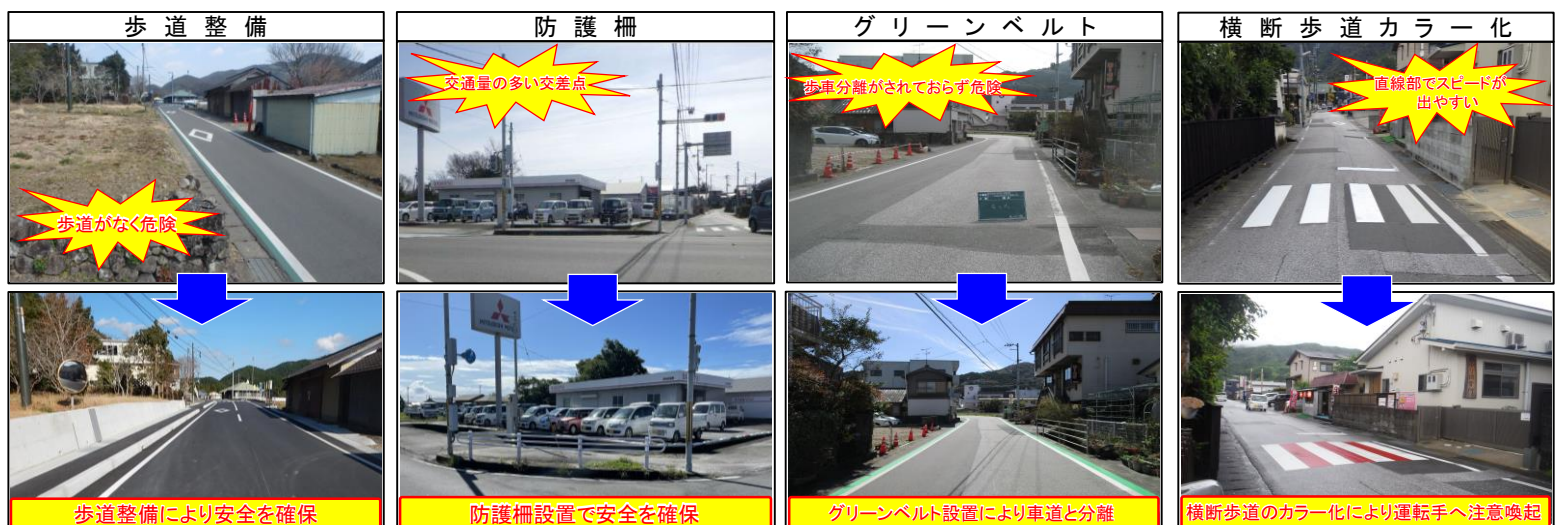
③ 県道中村宿毛線のバイパス整備による地域防災力の向上(南海トラフ地震)



通学路等の交通安全対策

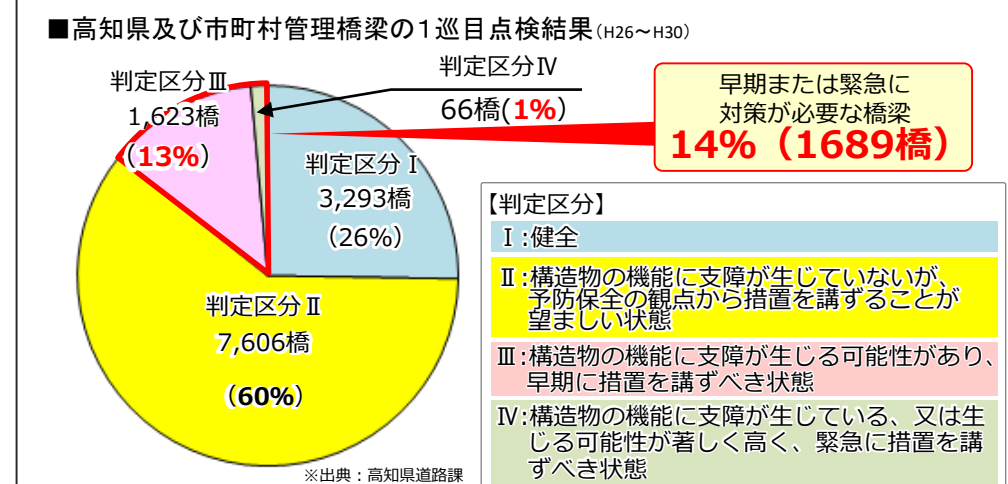
●高知県における通学路交通安全対策の取り組み

○背景
H24通学路緊急合同点検
 平成24年4月23日の京都府亀岡市の事故をはじめ、登下校中の交通事故が相次いで発生したことを受けて、学校関係者、教育委員会、道路管理者及び警察により点検を実施。
R1未就学児緊急安全点検
 令和元年5月8日に滋賀県大津市で発生した園児等の事故を受けて、幼稚園、保育園等の対象施設、対象施設を所管する機関、道路管理者及び警察により点検を実施。
 これらの点検による危険箇所のうち、道路管理者が行う対策について早期対策完了を目指し取り組んでいる。



事後対策から予防保全へ転換し、コスト縮減

●高知県における橋梁の現状



■Ⅲ・Ⅳ判定橋梁の対応状況(R2.9末現在)

	措置着手率	うち完了
県	100%	44%
市町村	41%	15%

市町村橋梁の着手率 **約4割**

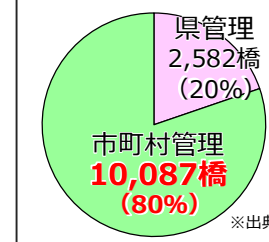
●市町村における老朽化対策の課題

■橋梁保全業務に携わる技術者数(R3.5現在)

	自治体数	うち技術者不在自治体数
市	11	0
町	17	6
村	6	4
市町村計	34	10

県内34市町村の内 **10町村**で **技術者不在**

■管理橋梁の割合



■橋梁点検調査にかかる費用負担

- ・橋梁点検調査 (1回/5年)
- ・点検費 約40万円/橋
- ・年間点検調査費 約8億円

点検調査費は **起債対象外**

技術的支援

- 研修機会の増加など **技術者の育成・確保**のための **更なる支援**
- 着実な維持管理を行うための **予算の確保**
- 起債充当などの **制度設計**